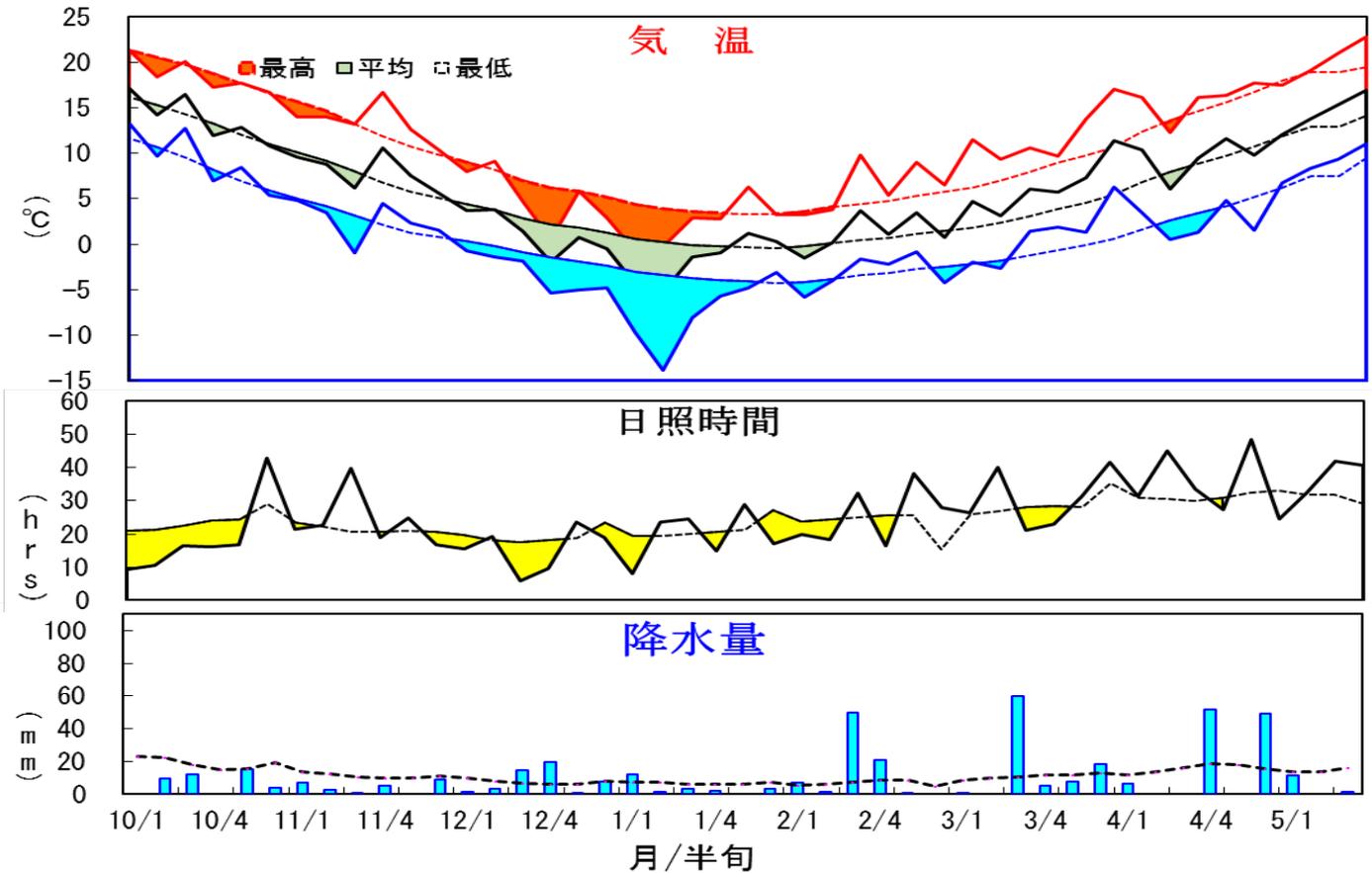


～西日本では早くも梅雨入り！東北も早いか？収穫準備は早めに！～

1 気象経過（古川アメダス）



- ・平均気温は、12月～1月中旬は低温で、特に1月上旬は強い低温であった。2月中旬以降は高温傾向で推移し、特に3月は観測史上1位の高温となった。
- ・日照時間は、12月～2月中旬は寡照、2月下旬以降は概ね多照傾向で推移した。
- ・降水量は、低温と重なった12月中旬と年末年始は降水がすべて雪、2月中旬は大雨の後、雪となり積雪した。2月中旬以降は1週間程度の間隔で降雨があり、多雨と少雨の期間差が大きかった。
- ◆一か月予報では、気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並みからやや多いと予想されている。

2 生育状況：5月11日現在（古川農業試験場 作況試験 調査より）

- ・大麦「シュンライ」の出穂期は、10月中旬播種では平年より3日早く前年より6日遅かった。開花期は平年より3日早く、概ね前年並みであった。
- ・大麦「ミノリムギ」の出穂期は、10月中旬播種では出穂期・開花期ともに平年並みであった。
- ・小麦「シラネコムギ」の出穂期は、10月中旬播種では概ね平年並みであった。5月11日現在、開花期には達していない。
- ・小麦「夏黄金」の出穂期は、10月中旬播種では前年より2日遅かった。5月11日現在、開花期には達していない。

古川農業試験場：中旬播種 = 10/19, 下旬播種 = 10/30

品 種 名	播種区分	出 穂 期				開 花 期			
		本年	前年	平年	平年差	本年	前年	平年	平年差
シュンライ	中旬播種	4/23	4/17	4/26	-3	4/29	4/30	5/2	-3
	下旬播種	4/28	4/25	-	-	5/5	5/3	-	-
ミノリムギ	中旬播種	4/29	4/23	4/29	0	5/5	5/3	5/5	0
	下旬播種	5/3	5/1	-	-	5/7	5/5	-	-
シラネコムギ	中旬播種	5/4	5/3	5/5	-1	未	5/14	5/15	-
	下旬播種	5/8	5/7	-	-	未	5/16	-	-
夏 黄 金	中旬播種	5/4	5/2	-	-	未	5/13	-	-
	下旬播種	5/7	5/4	-	-	未	5/14	-	-

3 今後の管理

(1) 排水対策

- ・これから出穂期を迎えるが、明渠がきちんと効いているか等排水対策に万全を期す。
- ・6月の成熟期に近くなると、湿害が顕著になるので、早めに明渠等の手直し作業を実施する。

(2) 赤かび病の防除（病害虫防除所サイトより）

- ・大麦の防除は概ね終盤と思われるが、小麦の防除は本格化していると思われる。
- ・防除適期は、1回目が開花始期～開花期、2回目がその7～10日後で、降雨が続く場合は追加防除を検討する。
- ・西日本では、例年にない速さで「梅雨入り」しているが、天気を見ながら適期防除を徹底する。

(3) 収穫の準備

- ・麦類の成熟期判断基準は、「茎葉及び穂首部が黄化し、粒はほぼロウぐらゐの硬さに達した日」とされており、一般的には大麦では出穂後約40日～45日、小麦では45日～50日である。
- ・収穫適期は、成熟期から約3～4日後で、穀粒水分30%以下が望ましいとされているが、降雨が見込まれる場合には、作業を早める必要がある。
- ・生育の進んでいる大麦では、6月5日～10日頃には成熟期に達すると見込まれる。

◆小麦品種「夏黄金」の収穫適期は成熟期後7日以内で、刈り遅れによる品質低下を避けるため、遅くとも成熟期後10日までに収穫する【宮城県「普及に移す技術」第96号より】。

「ゆきちから」より収穫の適期幅は広く、子実外皮の退色もやや遅いが、刈り遅れないように心がけ、成熟期後10日までには収穫を終えるようにする。

